一般社団法人日本デフバレーボール協会

中・長期基本計画

2026 年 6 月 21 日

■　理念

スポーツは、さまざまな背景を持つ人々を結びつけ、お互いの違いを理解し、尊重し合うための強力な手段です。デフスポーツは、聴覚障がい者と健聴者のコミュニティを結びつけ、デフリンピック・ムーブメントは世界中で多様性と公平性の象徴として機能し、共生社会の実現に向けた大きな推進力となっています。私たちは、デフバレーボールの発展を通じて、聴覚障がいや手話に対する理解を深め、すべての人が尊重し合い、ともに生きる社会の構築に貢献します。

さらに、デフバレーボール競技の普及と、デフリンピックをはじめとする国際大会で世界一を目指す取り組みを通じて、このデフリンピック・ムーブメントの理念を体現し、その価値を広めていきます。

■　国内大会事業計画

・　国内大会事業計画【2026 年～2030 年】

競技の更なる普及を見据えて、多くの方に楽しんでいただける大会開催を目指す。 また、競技人口が増えることを期待し、主催大会を増やし、ステップアップ出来る大会を提供していく。そのために 3 つの主催大会を定着かつ発展させる。

１．公式競技大会…

ジャパンデフバレーボールカップ、

ジャパンデフマスターズバレーボールカップの実施

２．普及大会…デフバレーボールチャレンジカップ（ろう学校チームによる全国大会の計画）

■ 日本代表・男女強化事業計画

・男子 ・女子

【目標】

世界トップランクチームとして、健聴者のバレーボール界とさらに交流を深め、常にメダルを獲得できる代表チームを育成する。

【短期計画(2026 年～2027 年)】

2029 年デフリッピックに向けた日本代表チームの再編成と強化を進める

【中長期計画(2026 年～2029 年)】

2027 年　第 2 回ユースデフリンピックに向けて、ユース代表チームの育成・派遣を計画する。

デフバレーボール世界選手権（トルコ） での金メダル獲得。

2029 年　第 26 回夏季デフリンピック（アテネ）で世界一を目指す。

■ 普及・啓発事業計画【2026 年～2029 年】

・デフバレーボールチャレンジカップを開催し、競技人口の拡大を図る

・東京都助成金を活用したスポーツ手話通訳者の育成を検討する。

・ ユースチームの育成計画の策定にあたり、全国及び各ブロックのろう学校体育連盟や各ろう学校バレーボール部と連携を深め、競技への理解と普及拡大を図る。

■ マーケティング計画

【中期（2026 年～2028 年)】

ホームページ、SNS、クラウドファンディングを活用して周知する。

男子チームスタッフつながりで東京グレートベアーズとの協働展開を進める。

【長期（2026 年～2030 年)】

SNS 等の発信に加えて、東京 2025 デフリンピックの開催をきっかけに、みて・体験して、応援する人々を増やし、認知度を上げて協賛スポンサーの獲得につなげていく。

■ 財務基本計画

・自主財源の確保に向けて

【短期（2026 年～2028 年)】

現在契約中のスポンサーに引き続き支援を依頼する。

現在の公益財団法人ゴールドウイン西田東作スポーツ振興記念財団、公益財団法人スポーツ安全協会、公益財団法人トランスコスモス財団からの協賛金を継続していく（目標３００万円）

【中長期（2026 年～2030 年)】

SV リーグと協働し、合宿活動の役割分担など事務局機能を整える。

デフバレーの周知事業を 2 件以上実施し大会参加者の１０％増加を目指すことで登録費用の増加を目指す。（３５０名⇒３８５名）

現在の 3 社あるスポンサーを維持していく。

■人材育成計画【2026 年～2029 年】

・事務局人材：障害特性（コミュニケーション環境）を理解し、透明性の高い組織運営を行なえる人材を、主催大会等にスタッフとして参加してもらい育成する。（目標１名）

・競技特性を理解する手話通訳、ITC を活用した文字情報保障などのスキルをもつ、または習得意欲のある人材を合宿等の機会を使って講習や体験を実施する。